

令和三年度埼玉県公立高校入試 類題

■次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

今、地球温暖化の影響で、ロシアを中心に広がる永久凍土の溶解が問題視されている。その例の一つに病原菌やウイルスの放出が挙げられる。実際、二〇一六年ロシア北部のヤマル半島にて炭疽の集団発生が起こり、一人の少年が命を落としているが、その原因是炭疽菌に感染したトナカイの死骸が永久凍土の溶解によって表出し、皮膚接触したことから感染に至ったと考えられている。このことから、我々は、より一層の省エネに努め、地球温暖化防止を心掛けるようにするべきだと考える。

問 傍線部「その例の一つに病原菌やウイルスの放出が挙げられる」とありますか。筆者は例を挙げて何について、どのようにすべきだと考えていますか。本文中の言葉を使って、五十字以上六十字以内で書きなさい。

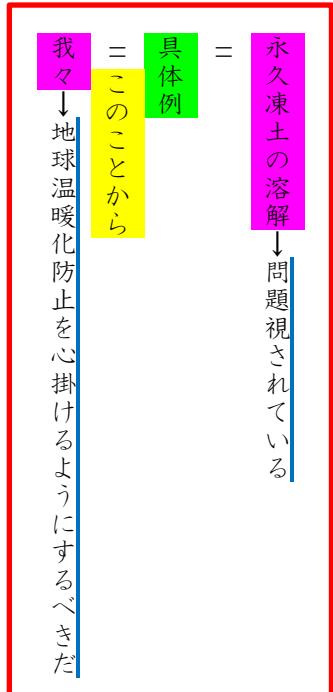
(解答例は次のページ)

まずは、③「設問の条件を正確に把握する!」ようにしましよう。今回の問題で問われていたのは、(筆者が例を挙げたのは)「何について」「どのようにすべきか」の二点でしたね。そこで、五十字以上六十字以内という字数制限にも注意し、解答の材料を本文中から探ししましょう。

次に、本文の確認をしていきましょう。こちらも①「一文の要点(主語・述語)を見抜く!」、②「筆者の主張と具体例を見分ける!」を使って、本文の構造をチェックしてみると左記のようになります。

今、地球温暖化の影響で、ロシアを中心に広がる永久凍土の溶解が問題視されている。その例の一つに病原菌やウイルスの放出が挙げられる。実際、二〇一六年ロシア北部のヤマル半島にて炭疽の集団発生が起こり、一人の少年が命を落としているが、その原因は炭疽菌に感染したトナカイの死骸が永久凍土の溶解によって表出し、皮膚接触したことから感染に至ったと考えられている。このことから、我々は、より一層の省エネに努め、地球温暖化防止を心掛けるようにするべきだと考える。

そこで、左記の内容を図式化してみると



と整理することができます。

今回、傍線部が引かれているのは「具体例」の部分、つまり「補足説明」の部分に引かれているので、何が言いたいがための「補足説明」なかを読み取り、前後の「筆者の主張」の部分から解答の根拠を探すようにしましょう。すると、右記で整理したように、この文章の筆者の主張は「永久凍土の溶解の問題」について、その問題を解決するために「我々は地球温暖化防止を心掛けるようにするべきだ」であることがわかるので、以上を踏まえ解答をまとめるといいでしよう。

解答例

永久凍土の溶解の問題について、その問題の解決のために、我々は地球温暖化防止を心掛けるようにするべきだということ。(五十六字)